

くらしナビ 健康 Health

kenko@mhx.mainichi.co.jp



将来の合併症予防、
死亡率低下に効果的=遺産効果

なくそう 減らそう **糖尿病**

糖尿病の患者数は、予備群を210万人いると推定され、増らない。糖尿病治療で最も重要な点を低く抑えようしたが、食事制限と体調管理が求められ、実現は容易でない。しかし最近の研究で、治療当初から生活習慣の改善によって血糖値をよく抑える努力をした人は、後々筋梗塞などの発症確率が低くなっている。「最初の頃は張り切る」とされることがある名付けられた「注目されていい。

【永山悦子】

早期の血糖管理 死亡率低下に効果

◇ ◇ ◇

血漿貯蔵を投棄などした
よりて厳格に低く抑え
る治療法を「強化療法」
と呼ぶ。強化療法をし
た集団は、しない集団
と比べ、膜腫症などの
併症の発症率が低く、
その効果が長く続いた。
とは知られていた。
北米で、何らかの原
疾患の発症率、終死率
率に差はなかったが、
07年時点では強化療法
の方が、心筋梗塞の發
症率が15%減、脳卒中の
発症率が9%減、終死
率が13%減となり
た。

研究チームは、「早期
からの徹底した血漿貯
蓄管理の効果は長く続
いた。95年までは心筋梗
塞の発症率、終死率
率に差はなかったが、
07年時点では強化療法
の方方が、心筋梗塞の發
症率が15%減、脳卒中の
発症率が9%減、終死
率が13%減となり
た。

のHbA_{1c}は4%台後半から5%台前半と、きわめて良好だ。合併症も出ていない。男性は「良い血糖値は命になる。将来のためにも頑張りたい」と話す。

約4割低かった。
また、英国で、生涯血糖の乱れなのが原因で癡呆するうつ病糖尿病患者を対象にした研究では、1978~97年間に強化療法をした糖尿病集団としない集団を比べて、しない集団を比べて、

「」と報じ、この効果を「遺産効果」と呼びけた。

え直庄、田中賛賀も、
良好な数値を10年間維持することを目指した。80年に発表された論文によると、試験終了5年後の強化療法の集団の総死亡率、心血疾患の発症率は約半分に抑えられた。
この試験は対象が160人と少なかったため、門脇教授は80年め、「門脇教授は80年」と語りこむ。

1

本研究は、西脇の因形筋萎縮症を対象とした比較試験をしてくる。強化療法の集団は、HbA_{1c}を5.7%未満に抑える。血糖は、自由脂質も厳格に管理する。業も使うが、血糖値を大幅に下げて生存率を大幅に上げる。